

大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

よいことのために手を取りあおう



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会 長：吉原 久男 幹 事：渡邊 孝太
- 広報・公共イメージ
向上リーダー 星野 実

2025 年 9 月 17 日(水)
第 27 巻 第 8 号

通巻第 1129 号

ホームページ
<http://www.oamirotary.com>
✉E-mail
rc@oamirotary.com
Instagram
<https://www.instagram.com/oamirotary?igsh=MTRZenBxZZoyOHJwMA==>



🌸 本日の例会 🌸

点 鐘 会長 吉原 久男
ソ ン グ 手に手つないで
会長挨拶 会長 吉原 久男
幹事報告 幹事 渡邊 孝太
プログラム
納涼夜間移動例会
古民家もちづきにて



星野 実会員
誕生祝い有り難うございます。

出席報告

例会日	8 月 20 日	9 月 3 日
会員数	27	27
出 席	17	17
欠 席	5	4
M U	0	0
免 除	5	6
出席率	82%	85%

会長挨拶

吉原 久男



皆さんこんにちは。
まだ暑い日が続きますので、健康に気を付けて過ごして下さい。
味覚の秋に入り、食材が多く、美味しく感じられる時期になりましたが食べ過ぎないように気を付けて下さい。
大網ロータリークラブのコスモス畑が、大網白里市の広報で紹介されましたが、開花時期が終わりに近づき残念です。来年はもう 1 ヶ月早く種まきをしたいと思います。宜しくお願いします。

「大網白里ワークエキスポ 2025」が 11 月 18 日(土)に大網白里アリーナにて開催されます。商工会青年部が主催ですので、ロータリークラブも参加し、将来クラブに入会してくれる候補者を見つけられたらいいなと思います。内容は、飲食関連事業者が出店していますので、当クラブはレモネード等の販売をしたいと思います。

職業体験を通じて、何か将来子ども達の役にたつかもかもしれません。

今、当クラブにとって 1 番大変な事は、毎月の卓話者を探す事です。プログラムリーダーの矢部さんも頑張ってくれていますが、限界がありますので、担当者だけに任せる事無く、皆さん全員で探しましょう。とりあえずは、10 月までは埋まりましたが 11 月以降はまだ決まっておられませんので声かけ宜しくお願い致します。

本日の理事会の出席率は、近年になく 100%でした。今後共全員出席を目指して、頑張りましょう。よろしくお願いします。

2025 年 9 月

1 ドル = 147 円

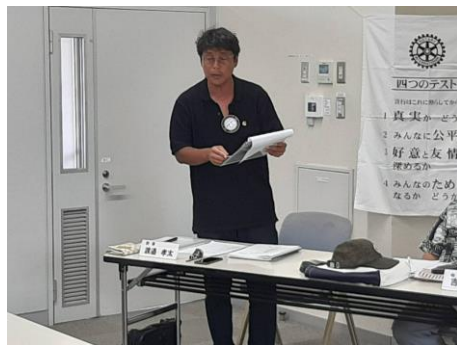
9 月誕生祝い



星野 実会員

お誕生日おめでとうございます

幹事報告



渡邊 孝太幹事

セミナー及び行事予定

●ロータリーリーダーシップ研究会
 日 時：9 月 23 日(火)祝
 10:00~18:00
 場 所：千葉市民会館 3 階
 特別会議室 2
 参加者：齋藤幸男会員・坂本元美会員

●会長幹事会 ホスト：東金 RC
 日 時：9 月 26 日(金) 18:00~
 場 所：割烹志津本
 参加者：吉原久男会長・渡邊孝太幹事

●ロータリー財団セミナー
 日 時：9 月 27 日(土)
 13:00~16:30
 場 所：TKP ガーデンシティ千葉
 参加費：3,000 円 (1 クラブあたり)
 参加者：吉原会長・渡邊幹事

●米山奨学生及びカウンセラー
 第 2 回研修会
 日 時：9 月 27 日(土)受 13:30~
 会 場：平山建設株式会社 会議室
 参加者：佐藤廣子カウンセラー・サ
 ジャーニ様

研修報告書

出席者：泉 恵子・坂本 元美
 日 時：8 月 23 日 13 時 30 分~
 会 場：TKP ガーデンシティ千葉
 研修議題：2025-26 年度危機管理セミナー

「防災対策について」

千葉県防災危機管理部 危機管理政策課
 地域防災支援室室長 安達 亮二氏の講義
 がありました。



災害が起きた時、市町村と県の役割について話が有り、主に市町村が身近な市民を守る等の対応を行い、県が総合的な調整支援を行うとの事でした。

1959 年 昭和 34 年に発生した伊勢湾台風の被害を受け、それをきっかけとして、1961 年 昭和 36 年に 日本で初めて、防災対策基本法が制定されました。

千葉県では、近年、令和元年の台風 15 号発生を思い出されます。通常は、九州から上陸し、徐々に、勢力が衰えてから、千葉の方にやって来るのに、この時は、勢力を保ったまま、いきなり上陸したため、多くの被害が出ました。大網白里市では、停電が 2 日から 5 日ほど続き、断水も続き大変だった事を思い出します。

私事ですが、身の周りで、比較的大きな災害被害に遇うことが無く、過ごしてきました。今までは、「何かあったら、避難すれば良い」と軽く考えていました。この時は、今までの中で一番大変な思いをしました。そして、まず、利用者の安全確保に動き「自分の事ばかりを考える場合では無い」「自分は、重大な責任があるのだ」と気付かされ、利用者の食の確保に奮闘しました。

この出来事は、私の生涯にとって、大きな教訓になりました。

災害が起きた時の救助の種類について、自助、共助、公助に分類されるそうです。

自助は、「自分の事は、自分で守る事。」家具や家電製品の転倒防止金具の設置、災害用品の備蓄、災害が起きる前の備え等を指しまして、

共助は、「自分たちの地域は自分たちで守る。」自主防災組織、消防団、自治会 等を指しまして、

公助は、公的な機関、市町村、県、警察、自衛隊 等の支援を指します。

公助には、限界があり、直ぐに救助に駆け付けられない事が多く、災害が起きた時、助かった人の証言から、割合では、自助が、7 割 共助が、2 割 公助が、1 割 であったそうです。

如何に自助、共助が重要であることを知ることが出来ました。

「青少年プログラム参加者への保護」について

国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 研修部門委員 津留 起夫氏の説明で、青少年へのパワハラ等の保護について、どの様な対応が必要なのか、又、どの様な事がパワハラに当たるのか事例を交え、映像や音声データでの発表を頂きました。こちらに、そのつもりが無くても、相手の人がどの様に受け取るかが重要と言う事です。

私たちも、日頃の業務の中で、従業者や関係者への対応で、気が付かないうちに、相手を傷つけていないか気をつけたいものです。

また、青少年や女性など社会的に弱い立場の人へ配慮した関わり方について学びました。これから、特に行動や言動に十分気をつける様心がけたいと思います。